

事例名：図書館によるベンチャー企業創出支援

機関及び連携機関

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
鳥取商工会議所
財団法人鳥取県産業振興機構
国立大学法人鳥取大学

功労者

鳥取県立図書館 支援協力課長 小林 隆志
鳥取県立図書館 館長 森本 良和

事例の概要

- ◎鳥取県立図書館のビジネス支援事業(平成15年度より開始)によるベンチャー企業の創出事例である。
- ◎創業を目指す起業家の図書館での資料相談(レファレンスサービス)をきっかけに、ビジネス支援機関が協同し創業支援を行い、起業初年度の昨年(平成19年)には、2007年グッドデザイン賞(財団法人日本産業デザイン振興会主催)を受賞した。
- ◎鳥取県立図書館では、防災用品の市場規模や動向などのビジネス情報を提供するとともに、ビジネス支援事業協力機関への紹介と協力機関同士の情報共有の場を提供した。
- ◎鳥取県産業技術センターでは、県立図書館からの紹介で技術相談に訪れた起業家に、製品化への支援として、県外デザイナーと共同でデザインコンセプトから製品設計、材料選択・材料強度試験を行い、事務所として起業化支援室を提供した。
- ◎鳥取商工会議所では、県立図書館で開催した起業相談会で、会社設立、登記や財務諸表の作成などへの起業支援を行った。
- ◎財団法人鳥取県産業振興機構は、経営支援などの経営革新支援や県内外受発注情報提供等の販路開拓支援相談を行った。
- ◎鳥取大学では、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー(VBL)のMOT(Management Of Technology)教育プログラムの推進教官により、ビジネスプランのブラッシュアップ支援、企業財務管理の支援を行った。
- ◎起業家は「県立図書館が無ければ今のビジネスはスタート出来ていなかった。」とし、地域のイノベーション創出のため積極的に図書館を活用する事を薦めている。

(特筆すべき事項)

- ◎通常の会社員が、県立図書館のビジネス支援事業をきっかけに平成2007年4月に会社設立(株式会社沢田防災技研)し、産学官連携による製品化1号である「シャッターガード」で2007年グッドデザイン賞(商品デザイン部門 / 住宅設備)を受賞した。
- ◎台風などによる強風によってあおられ破壊することを防ぐためのシャッター専用の防災機器としては世界初。
- ◎県立図書館を核とし、協力体制にある専門機関の支援によるビジネス創出として優れた事例で、経済産業省中国経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構も鳥取県モデルとして注目。
- ◎鳥取県立図書館は第1回のライブラリーオブザイヤー2006(NPO法人知的資源イニシアティブ(IRI))を受賞

具体的成果等

1. 技術への貢献

- ◎台風などの強風時や防犯用にスライド式シャッターを補強する部材で、設置が容易で、安価、汎用性に優れる。 <http://www.sawada-guard.com/>
- ◎シャッターレール間の幅に応じ全長を調節できる機構や、全シャッターメーカーの軽量シャッターに対応し、かつ、強度の向上を図ったアンカー部を工夫した製品。
- ◎リサイクル性を考慮したアルミ合金素材等を使用。
- ◎特許第3912794号、特許第4092715号を取得し、国際特許出願済。

2. 市場への貢献

- ◎強風によるシャッター破壊の事故がしばしば報告されているが、それを防止する手段や防犯用として簡単に設置でき、確実にシャッターを補強する製品の開発。

3. 社会への貢献

- ◎台風などによる強風によってあおられ破壊することを防ぐためのシャッター専用の防災機器としては世界初。

4. 連携体制の特長・波及効果

- ◎図書館への相談を契機にしたベンチャー企業の創業にあたり、製品開発から販路開拓まで各支援機関が連続的な支援を行った。
- ◎図書館発のベンチャー企業創出とも言える事例となった。

(功労者の主な役割)

- ◎知の拠点として、平成15年4月ビジネス支援委員会を立ち上げ、仕事に役立つビジネス支援サービスのあり方を検討し、平成16年4月より本格実施。
- ◎県・市町村等行政機関や商工会議所、商工会連合会等の商工団体、経営支援財団や雇用・能力開発機構、発明協会、大学・各種団体等とのタイアップにより、公開講座・相談会、セミナー等を継続的に多数実施。
- ◎あらゆる機会を捉え関係機関との協力体制を確立し、信頼性の高い情報共有の場を提供することで地域産業振興の重要な調整役を務めた。



シャッターを風災害から守るシャッターガード
SHUTTER GUARD
Shutter Guard prevents the shutter from wind damage, when the shutter closes.

「図書館のおかげ」

沢田防災技研が教育長表敬



「県立図書館を皮切りに商品が完成した」と話す沢田社長(右)と鳥取県庁

鳥取県立図書館のビジネス支援をきっかけにベンチャー企業を立ち上げた。本年度のグッドデザイン賞を受賞した、沢田防災技研。鳥取市若葉台南七丁目、県産業技術センター内への沢田克也代表取締役(四七)が二十七日、県庁に中永広樹教育長を表敬訪問し、「図書館は資金力のないベンチャー企業にとって有能な社員を何人も雇うに等しい。受賞は図書館のおかげ」と喜びを語った。同社は今年四月設立。防災機器の開発に取り組み、製品一号として発売した世界初のシャッター専用防災機器「シャッターガード」は県内で唯一、本年度のグッドデザイン賞を受賞した。沢田代表は「約二年前に図書館に行き、製品アイデアを商品にするまで短期間に多くの情報や資料提供、専門機関の紹介などをしてもらった」とお礼を述べた。県立図書館のビジネス支援は二〇〇三年度からスタート。起業準備から事業計画の策定、商品化まで情報収集や市場調査を行っている。